磐城毎日

發行所 福島縣平市南町六六（平局區內）
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番

御愛讀下さい

税法の大幅改正で
職員五七名増員決定

石城地方事務所では税法の大幅改正に伴つて税務課員の大増員が正式に發令された、現在定員三十三名のところ五十七名にと一躍倍になつたので階下の事務室も收容しきれないので十二日は各課の引越しに大混雑だ五十七名の税務係が机をならべると現在の事務室があらかたの三分の二が占領されることとなるので林務課は取敢えず二階の會議室に追込まれた、何と云つても縣下一の財源地石城である、平市五千四百三十万円と郡内二億円、計二億五千万円が年に賦課されてゐるもので、税務課ではこの税額の圓滑な徴集に万全を期すには七十名の課員を必要とあづて內申してゐたところ今度の増員となつたもので、この増員職員が着任配置された場合は現在の職員百二十名の半分が税務課となるもので税務課の地方事務所と云つた感じだ

合併に依り地區委員會設置の認可申請を行つて居たが此の程認可された

麥類檢査事務
打合せ會

縣販賣連石城支部では來る十六日午前九時より地方事務所に於いて郡下各農協會長と本年度産麥類、馬鈴薯檢査業務打合會を開く、協議事項は檢査業務關係の趣旨徹底について、檢査技術の向上について、その他である

度量衡の拔打檢査
市內一齊に今日行う

近頃物價の値下りから儲の薄くなつた市內商店の一部惡質業者がその穴を埋めようとはかりの目をごまかすものが大分殖えてきたので平市物價監視委員會、平市署、市商工課がタイアップし主婦二人を交えて十二日市內商店の度量衡の檢査を一齊に拔打的に行つたが繼續して二三日行ふ

石城法人會
會員募集總會

石城法人協會第二回總會は來る二十三日平商工會議所で今年度豫算、二十四年度決算と新會員の勸誘等に付て協議する豫定になつてゐる、なほ同協會は昨年六月結成され會長は諸橋久太郎氏で現在百五十名が加入してゐるが、平商工會議所では四百を越へる法人を數えて居り、之ら法人の參加に付て今後積局的に働きかけることになつた

神谷農委設置

神谷農業調整委員會は平市

社說
蒙を啓く

現在平市內に六十余名の開業醫があつて之れが郡下に亘る廣範な醫師會に包括されてゐることは會の運營上幾多の支障あり市內開業醫のみを以つて獨立した醫師會を設立することになつたのである所がこの問題を取揚げて去る日某新聞紙上に於て醫師會の分裂騷ぎと題して鈴木市長を始め八ツ當りな批判が載つてゐるそして新發足する醫師會は小兒病的な遣り方で四十名位脱退しても何等痛ようを感じない、と一方的な見解を下しては醫師會の存在とその運營に何の檢討を加えてゐない輕卒さにはあきれるものがある

戰時中の變則的機構下では凡てのものが制約されてゐた醫師會も一郡を網羅してゐたのである、それは實に不自由且不合理性があつたことは周知の事實である、それを地域的に設立することになつたのは任意であり法的にも何等拘束されるものでない、それを平地に波らんを捲き起した鈴木市長の徒黨の仕業と斷じるにいたつては醫師會の運營に付てよき方向を與えるのではなく、鈴木市長排擊の具に供した以外に何物もない逸脱論法でこれこそ小兒病か狂犬病と云うべきである

醫師會の設立と市長とは何の關係もない、市公營の國民健康保險事業に關しては保險者である市長が重大な關心と責任をもつてゐるのは當然である、醫療費を輕減し市民の負擔を輕くすることは當然である

醫師會の設立に就ては法文化された何ものもない平市の如く六十人も醫師があり乍ら地域的な組織を以つて斯界向上と親睦融和を計ることは當然であるし、斯した機運が釀し出されたのは何も不自然なものと思つてゐない凡ての條件が斯くあらしめたもので、醫師間の申合せ會合が發展的組織をつくつたとて取立てゝ騷ぐことこそ當を得てゐないのであるまいか＝同樣二、三の寄稿あるも本稿を掲載、外は載しません

高校長協議會

來る二十日午前十時より湯本中學校に於いて平市、石城郡高校長協議會を行ふ、本年度入學考査の反省、中學校英語課の經營についてその他各學校議案の審議を行ふ

中小企業會議
平子事務局長出席

平市中小企業ブロック會議は二十八日平商業協同組合二階で企業の合理化、資金の圓滑化等に付て協議するなほ當日は中小企業振興本部の平子事務局長、王山、山岡兩楅大經濟學部教授の中小企業等協同組合自已診斷の要に付て、經濟分析と自已診斷並に固定資産再評價に付いての講演がある

情けの贈物
各家庭に配らる

不幸な子供達えと兒童福祉週間に雜誌、鉛筆、筆入、繪本、雜記帳等の贈物が市社會課に山積されてゐたが昨日保護者の手を通じてそれぞれ兒童達に贈られた、此の子供達のけなげな贈物に保護者達の中には感謝の涙にまぶたをぬらし何度も係員に頭を下げてゐる美しい姿も見られた、なほ現代生活保護金を受けてゐる人は三百五十一世帶で老衰者七十四、未亡人一六六、不具者十六、引揚者八、其の他八十七世帶となつて居り保護金は最高六千円から最底三百円で月六十一万円を計上してゐる

PTA連合會

十日第三小校で開れたPTA連合會長會議は規約の改正、署名運動の促進及び役員の改選が行はれ、新會長に內木宗八（三小）副會長に片寄保（六小）阿部傳六（一中）の三氏が選ばれた

磐城印協役員

磐城印刷工業協同組合では十一日午前十時より市內鯨岡鑛泉に第一回決算總會を開き、二十四年度の決算、二十五年度豫算を審議し何れも原案通り決定して懇親會に移り、今後事業の經營印刷物に對する協定値段、税務對策等に意見の交換などあつて薄暮散會した、役員は重任となつたが一名監事の増員あり、氏名左の通りである

理事長渡邊治平、理事＝山野邊重太郎、藤田專吾永野孝夫、監事＝會川孝太郎、小島安左エ門、顧問＝大和田與兵衛今泉嘉藏、相談役＝高橋勝吉、長瀬芳郎

校外指導連盟總會 昨十二日午後三時半より平第一小學校で校外指導連盟總會を開く、其の後の補導狀況報告、前年度の決算報告、本年度の會費決定、役員改選、事業計額、夏休み中の指導對策、その他懇談

綴方教室

田植の頃

二中二ノ一 八木美和子

初夏の明るい日ざしを浴びてバケツやざるを持つた男の子が三人海岸にそつた町の通りを走つて來たが、やがて石べいのくずれかゝつた邸の門の中に吸いこまれるように入つて行た、門の中は正面の古風な大玄關までみかげ石の道が長くつゞいていてその両側は廣々とした芝生だつた

芝生には枝ぶりの見事な松の木や大きな石どうろや築山などがあつて幾十年か前の太田家の繁榮をしのばせているが、それもみな今は荒れるまゝにまかせられてゐた、子供たちは芝生に泥足をこすりつけながらバケツやざるを置いた、その中には川えびやふなやどじようが重なり合つていた「道ちやん、今日はおれもすい分働いたんだから一匹おくれよ」と言つたのは分報の敏郎だつた、しかし道男は

「だめだよ、トシべえはおれのけらいだもの働くのは當り前だよ……なあ」と言つて兄の顔をのぞく

「うん、池にもはなさなきやなんないし——それにこないだつかまえた鳥にもやるし」と敬一の返事

「いやだいそんなの……あの鳥だつておれがつかまえたんだぜ」

「ばか！そんな事言うと、今度から仲間に入れてやらないぞ」

敬一と敬郎がいゝ争いをしている時に、敏郎の母のきみ子が來た

「敏坊！お前はなぜそんなに遊んでばかりいるのです今日はお邸の田植えだというのに——早く來て手傳わなきやいけないよ」

「だつておれんちの事じやないもの」

「なんです！そんな口答えをして……」いくらうちの事じやなくたつて、いつもお世話になつているお邸のことなら、手傳わないわけには行かないだろう」

「そんなにいそがしいの」

「あたり前さ、母さんと六さんだけなのだもの、二人ばかりであれだけの田植がかたずくと思うのかい」

きみ子がいつになく強いことばでいうので敏郎はしぶしぶ裏の田の方に行つた

自分の家の田植だと聞いても敬一や道男は一しよに行つて手傳おうともしなかつた、築山のふもとにある小さな池の中にはなしたり、鳥にやつたりした

このあたりは江戸時代からの溫泉場とし非常に榮えていた、その頃太田家は宿屋と料理店とを經營して町でも指折りの財産家といわれ今の邸も當時金を澤山使つて建てたものだつたが、三十年ほど前から溫泉の湧き方も少くなりおまけに炭礦が出來てからは溫泉場としては全くさびれてしまつた

太田家の主人倉三は、いろいろの事業を再び盛りかえそうとしたがみんなうまく行かなかつた

長男の進は東京の大學に入つたがわるい友達が出來て學校を中途でやめ家に歸つて何もせずに暮していろうちに大平洋戰争がおこつて兵隊にとられ間もなく戰死してしまつた、進の子供が二人あつた

それが敬一と道男で、年取つた倉三には目に入れても痛くないほどのかわいゝ孫だつた、二人は病身な母といつしよにこの邸に住み、祖父がかわいがるまゝにしたいほうだいのわがまゝをして暮していた

この太田家へ去年から來て世話になつているのが敏郎母子である、滿州で終戰後父をうしない、母と子が二人きりで內地へ歸つて遠い縁をたどつて太田家へ來たのである、そして倉三のなさけで近所に駄菓子屋の店を出してもらつたが何か太田家でいそがしい事があると母子がそろつて手傳いに來なければならなかつた

未亡人の更生資金
申込みたつた十一名

本年度未亡人更生資金借入の申込みは先月十日で締切つたが郡下で十一名だけの低調振り、未亡人世帶は九百三十人に對し十一名より申込みがない、此の原因は返濟期間が三ヶ年で短かい事、多くの子女を抱えての企業は未亡人には負擔に過ぎる事、貸付金額は二万円であるが實際は前例から見ると一万三千円程度で企業資金としてはあまりに少額で生活資金に利用されるきらいがある、此の制度に對する未亡人の認識不足があげられて居る、其の貸付金額の少ないことが利用者の少ない原因をなして居る事は事實であり此の大幅増額についての聲は大きくなつて來てゐる

醫師招聘に
組合委員出張

石城町村長會橋本事務局長他總合病院設立委員六名は縣補助金獲得の爲十二日出縣陣情の上病院醫師招聘の爲十三日仙台に出張、十四日歸廳の豫定

人事ニュース

△教委平出張所長委田玄之吉氏は本十三日から學校評價、教育の實態把握案作成委員會に出席の爲本日出福する

△平市關場商工課長、山野邊庶務課長、石山競輪場設置委員長、永野同委員は競輪場許可申請のため本日上京する

△薄葉荒廢林地復舊工事平出張所長は事務連絡のため十二日出縣、本日歸平の豫定

世の声

十日午後八時十分平驛發下り列車は四倉まで相當の客がゐたが久の濱に着た時は一客車に四、五人しか客がゐない、私の隣席に革製カバンを置き忘れた者があつたので末續驛に届けて置た、在中品によつて茨城縣日立市富田一、一四六番地和地幸五郎さんの所有品と判明した、末續驛に保管してゐます問合せなさい（本社遠藤）

人生旅記
平市收入役
根本益利氏

平市政一億以上の勘定奉行役たる根本益利さんは溫厚の昔ながら役人型である、然し今時の役人みたいに變な威張型などみじんもなく、飽迄實直の好收入役で、又其の役目の貫錄は充分發揮してもゐる、隣町內郷の産で郡制時代に石城郡書記として十年間も勤續し其の手腕を認められて縣廳に榮進したのである

十年前のあなたは

縣廳では會計課長と云えば高等官、隨分はゞのきく處であるが是れも又眞面目に勤めて評判がよかつた南會津支所長に榮轉して盆地會津に行政の實跡を示したが十五年、當時の平市長青沼氏に其の人物を買はれて市政施行當時の庶務課長にむかえられ十六年九月に元來の勘定畑の收入役となつたのである

今後のあなたは

爾來猪瀬軍人市長や伊藤官僚市長を經て現在の鈴木政治家市長と四代目滿十年間を收入役としてやり繰り算段の努力を續けて來たのである

三十余年間の役人やら吏員やらの奉給生活をして來た根本さんの評判は頗るよい、先づ將來も收入役の椅子は相當續くことでもあらうし市民のこれを望んでゐる所ろである

磐城 祝 毎日

常磐交通自動車株式會社
營業所
湯本町、泉驛前、植田町、勿來町、上遠野村
小名浜町、富岡町、澤渡村
電話平 三四三番
一、〇七六番

磐城通運株式會社
平市田町
電話 三五四番
四五八番

磐城貨物自動車株式會社
取締役社長 渡邊重三郎
專務取締役 强口唯七郎
平市鍛冶町
電話 六五三番
一、〇二九番
一、二九三番

磐城貨物自動車
平營業所
平市月見町三二
電話一八七番
東京—平間急行定期便

不景氣はどうひびく
地味な商法で靜觀
買うまで待とうの戰術？

各商店の物價が値下る一方で統制品は自由販賣になるし見かけたおしなインチキ品もどんどん量、質ともに良くなつて來た、これは原料の豊富になつて來たことを物語ると共に金詰りに對抗する資金回收の販賣戰術でもあらう何れにしても質量がよくなつて來たことは消費者の福音だ、

然しそれ程消化し得るかどうか此の頃では裁判所や刑務所で俸給の金券を發行しても銀行に金がなかつたりして給料支拂延期と云うせつない金詰りの面が話題となつてゐるのだが商店界にだつて朗らかなニュースは飛び出さないのはむりもない

菓子商の巻

市内菓子商は現在十七軒である、一時は菓子屋の天下であつた、これ程ボロイ商賣はないとまで羨まれてゐたものだが此の頃では原料が豊富に出廻つて來て競爭は激しくなつた、生菓子類も十円乃至十五円位だつたものが此の頃では十円から五円くらいに値は下つて來てゐるし、質も量もグンとよくなつてゐる、それに森永や明治の有名品が進出急であるし飴類なども押され氣味で十円に二個だつたものが十五も買えると云つた調子で、菓子屋の春は過ぎたと云つた所だ、これからは品質本いで地味にのれんを守るか宣傳戰を展開するかと思案の態と語つてゐる

洋物店の巻

ぼつぼつ町に若い女性の夏姿がみられる頃となつたがさて市內商店の賣行き具合某商店の話によれば六月はどつちつかずの月で賣上げはぐんと落ちるさうで、客が値下りを見越して買控えるので例年の様な先物買ひは先づ見られない、一番賣行きの良い品物は一本三十五円の手拭で、ハンカチなどもまづ良い方、また割合賣れるのはセーラ服（女學生用）上七五〇—四一〇〇円で中間ものがでる主に今賣れるのは風ろ敷七百円（ちりめん）六〇〇円（人絹）ベビー服二九〇（人絹）—四九〇円（富士絹）純綿湯上りタオル二一〇—三五〇円、ブラウス三八〇—八〇〇円、ケープ六〇〇円（本絹）—五八〇〇円（カベ）セーラ服（學童用）四〇〇—三〇〇円、ウンピース（本絹）九八〇円等だが梅雨があけ炎暑の頃を迎えると夏物下着類ハンカチ類が相當に出るものと期待されてゐる

履物屋の巻

外國では兎も角、日本では健實な商賣だ、一時は人氣の惡い粗品が多かつたが此の頃では台も鼻緒も戰前にまさるものがあるし、高級品が出廻つては來た、洋裝化された生活様式の變化から多少の打擊はあるものと見てよい、だが賣行きはまだ見どころがある、婦人ものは普段履きでは五十円も張れば手頃なものが買うことが出來る、現在のところ大量製產からどこの店にも在庫品が澤山で、梅雨期には腐朽や變質ものも出來るのが下駄屋は心配さうだ、然し値段は昨年から見ると並以下或は半値に下廻つてゐる

金物屋の巻

鐵びんから金くづまでかき集められて一般家庭は台所に不自由があるものと見て台所用金物は戰後立直つた今日、相當購買力があるものと思つてゐたが、金物屋さんの樂屋からのぞいたところでは買手がない、値段もグンと下つてゐるが賣行きは香しくないと語つてゐる

夜間營業の商店街
スピーカー宣傳「藤越」

梅雨あけの初夏を待つ市內各商店では衣類を始め麥ワラ帽子とウインドはもちろんのこと、店內の陳列棚のすべてが凡て夏物に切り替えられて見るからに客足を止てゐる、品質は豊富に出廻つてゐる、値段は幾分引しまつてゐるが大したことはない、客が買うか買はまいか二の足を踏んでゐる、まだそれ程切つぱつまつてゐないからか、然し商店街は販賣せん術に苦心の態、壽百貨店は今までの六時閉店を當分の間は午後八時まで夜間サービスの營業を斷行することになれば藤越百貨店は近く擴聲機を取付け、客を呼ぶ様に努めることになつた、商店街は明るくなる音樂は流れゆく、他の商店もこれに續くであらうし夜の街も明るくなることだらう

煙草の防濕劑
アトゾール

じめじめした梅雨期に入つたので專賣公社平出張所では煙草小賣店並びに愛煙家に煙草の防シツ劑としてアドゾールを推奨してゐるが値段は一握り五円で市內の藥局に賣つて居り、一般家庭でも海苔の貯藏などに使用すれば効果は百%といふ尙アドゾールは何年でも使用出來無害なものである

勞組動態調査

平勞政事務所では管內各單位勞働組合の組織、產業種別、人員、男女別、設立月日、其の他につき來る三十日から一齊調査を開始する

小名浜電業所
新築落成式十四日

東北配電小名濱電業所工費百万円で新築中であつたが此の程落成來る十四日から業務其の他一切を新電業所に移轉することになつた、當日は同地方名士約五十人を紹待して盛大な落成式典を擧げる

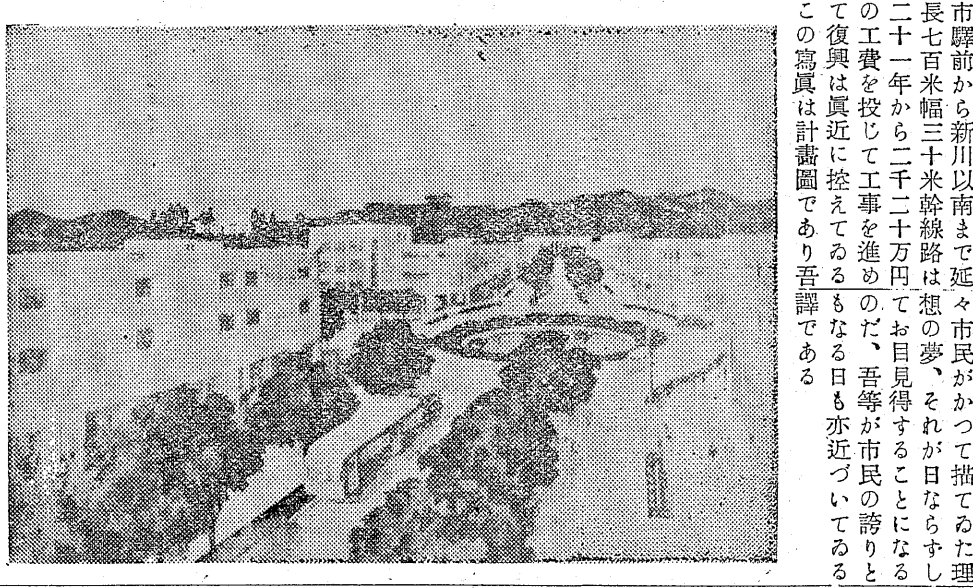
印刷者の歌

ヒヨイと摑んでステッキへ
ケースの前の植字工
その眼が速いか、その手はすぐに
素早く活字を摑み上げ
一語又一語と形造る
遲いが併し堅實に
一言、一言と推み重ね
そして尙續けられる
火の言葉は灼熱と化し
無音の不思議な言葉は
全世界をへめぐりし

怖るべき戰慄を起さしめ
抑壓された足かせをこぼつ
言葉はその正しき鬪いにおいて
われに三倍する劍の力を打破る
人はかつ字を單なる鉛の集合物と見なし
これを指先もて弄ばんも
印刷者は微笑もて一字又一字と
恰も正確な時計の如くに拾い上げ

鼻唄交りに文字を組み
已が仕事に熱中してる
俺のようにこんな簡單な活字で
世の中を支配している
ものは他にあろう？
ちやちな印刷機と鐵のステッキ
それにほんの少しばかりの鉛の花型
白い紙に黒いインキ、
ただそれだけだ
正義を支持し不正をこぼつ
この印刷者の力に刀向うものは誰か？

市民が描く理想!!



市驛前から新川以南まで延長七百米幅三十米幹線路は二十一年から二千二十万円の工費を投じて工事を進めて復興は眞近に控えてゐるこの寫眞は計畫圖であり吾々市民がかつて描てゐた理想の夢、それが日ならずしてお目見得することになるのだ、吾等が市民の誇りともなる日も亦近づいてゐる譯である

貴方はすきがある
五月中忘れ物百三十件

平驛待合室のわすれもの掲示板には毎日忘れものゝ書いてない日はない、中には五、六千円入りの財布から高價な時計まで掲示されてゐる、不景氣だ、金づまりだ、と言ふ昨今持ちきれぬ程持つてゐての置わすれでもあるまいがわすれものゝうち其の半分も取りに來て居ないと言ふところを見るとそんな人も居るかも知れない、とにかくそんなことはまあ別としてもわすれものが一ヶ月どの位いあるか調べて見よう、五月分車內待合室を含めて總數百三十一件、其のうち取りに來たものが四十四件、六月は十二日現在すでに四十七件も出てゐる、主なるものは風呂敷包、帽子、傘、カツパ、書籍、財布、時計等が多い上野驛は毎日少くなくとも此の十倍はあると云ふから朝から晩まで驛のスピーカがわすれものゝない様にとどなつてゐるのも無理もないが、お客さんも少し自分の持物を大切にしたいものだ

旅館荒し擧がる
余罪目下取調中

平市新川町三三土工平友四郎（一九）同二町目一土工向原昭二（一八）の兩名は去る五月上旬內郷町字小島天ノ田四九旅館昌龍館飯田十三雄さん方の居間からチヨコレート色單靴二足、時價二千五百円相當を窃取し九日平市署に捕つたが取調べにつれて向原は弟の幸四郎が三月中旬市內南町七一洋裁業高野幸一さん方から盜んだ女持八型腕時計時價千五百円相當を盜品と知り乍ら他に賣却、また友四郎は前記飯田方性不詳光夫（一七）住所不定無職加藤久雄（一七）の二名と三月十四日午後十一時頃市內新川町二十四煙草小賣商加藤昌次さん方に侵入し店先の「光」四十箇、二千円相當をも窃取したことを自供したので十二日送檢になつた

白米盜まる

平市月見町二四精米業高萩傳重（五二）さん方では十一日夜作業所南側表戸の鍵をバール様のもので破られ米三斗、金額千八百円相當を盜まれた

磐城女高陳列
作品窃取さる

平市內櫻ヶ丘磐城女子高等學校家庭研究室並びに英語研究室に十日夕刻から十二日朝までの間に賊浸入室內に陳列して置いた生徒の作品、單衣女物、襟、手袋など二十七点一万二千七百三十円相當を窃取されて居るのを發見、平市署に届け出た

少年の氣轉
脅迫二人組捕る

石城郡湯本町大字湯本字淺見五〇一三無職高橋良男（二一）は同町榮田大友正巳（二〇）と共謀の上十一日午後三時半頃市內田町世界館前に居た石城郡泉村俵尻字上谷地四一番地農業吉田强司（一六）同大字玉露字前原施盤工田子博之（一七）の兩名を話があるからと白銀町地內鐵道官舍横の道路上にて誘ひ込み毆打する振りをし兩名を脅し藥代を借せと金品を强要したが吉田君の機轉で警察署に電話で連絡、脅迫男二人組を捕えた

ジュニア選手權大會盛會に終る

一昨十一日午前十一時平市公會堂に於いて福島縣第一回ジュニア級選手權大會を開催した、日本重量擧理事長井口幸男氏、國体ライト級第一位窪田登氏、寢差世界記錄保持者若本竹丸の公開演技があり、後輩の指導の後各級の優勝者は次の通り

△フライ級　一位南部良夫（平）一九七、五キロ、二位安部京也（平工）一八五キロ、三位猪狩光夫（磐）一七七、五キロ

△バンダム級　一位名和勝利（磐）二〇七、五キロ、二位白鳥勝利（磐）二〇二、五キロ、三位鎌田健（平工）一九二、五キロ

△フエザー級　一位神谷務夫（專大）二二二、五キロ、二位管波要（磐）二一二、五キロ、三位伊關三郎（磐）一七七、五キロ

△ライト級一位後藤忠（平工）二二五キロ、二位飯田忠行（磐）二一五キロ、三位篠崎守雄（磐）二一二、五キロ

△ミドル級　一位島田晶平（磐）一九〇キロ、二位吉田遲（磐）一八二、五キロ

市內中小學校
映画觀賞會

市內小中學校生徒の映畫觀賞會は世界館、平文化劇場に於て十二日より鯨、動物の野球大會、お猿のカメラマン、子供ンラブその他ニュースを左記日割によつて上映する

	世界館	平文化
12日	三小、五小	三小
13日	三中	四小、御小
14日	二小、六小	二小
15日	一中	一中
16日	二中	一小
17日	一小	

午前八時二十分より

魚菜相場
—十二日現在—

（鮮魚市況）
（單位貫）

かつを	二〇〇—二二〇円
たい	五五〇円
すゞき	三五〇円
あじ	一三〇—一五〇円
いか	二二〇円
えび	二七〇円

かつを以外は引締る

【青果市況】
—（マルサ市場）—

きやべつ	一一—一六円
大根	二〇円
ねぎ（小束）	七円
玉ねぎ（四國）	三二〇—三五〇円
（地元）	三五〇—四三〇円
馬鈴薯	四〇—五〇円
さやえんどう	一〇〇—一三〇円
たけのこ	五五—七五円
京菜（一把）	五円

雨で高値

寶平錄

出生　△二十五日平市字舊城跡二二石塚貢（二女）好子さん

婚姻　△十八日平市字長橋町遠藤大（三五）さんと赤井村西小川字小橋佐藤靜枝（三四）さん

死亡　△十一日日平市大字中平窪字横枕相田ハル（七六）さん

◉密造酒を持つてたら捨てろ
後から摘發隊が來る、見付かつたら大變だ
明るい日本の建設は第一密造酒の撲滅にある
◆密造酒は惡い、飲んだ者も、賣つた者も、買つた者も、持つてる者も、造つた者も五十萬圓以下の罰金又は五年以下の懲役に處せられ密造酒は勿論副產物原料品、容器、器具、機械等は何人の所有を問はず全部沒收される
◆一般家庭は勿論料理店、飲食店、其の他どんな所からも密造酒を無くしませう

平
税務署
裁判所
檢察廳
警察署

健康保險指定診療所
外科
木村外科醫院
平市南町一四
電話三〇九番

健康保險指定診療所
皮膚科
性病科
內科
矢吹醫院
平市縣社下
電話一九三 一二九五番

健康保險指定診療所
產科
婦人科
齋藤醫院
平市南町
電話九二番

健康保險指定診療所
呼吸器科
胃腸科
小兒科
後藤醫院
平市古鍛冶町（縣社下）
電話一〇三六番